



shaping tomorrow with you

2017年度 上期決算説明会

2017年10月25日
富士通フロンテック株式会社

1. 2017年度 上期決算概要

- 連結経営成績
- セグメント別売上高・営業利益
- 地域別売上高
- 連結財政状態、キャッシュ・フロー

連結経営成績



[億円]

摘要	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
2017年度 上期	474	19	19	13	55.40円
2016年度 上期	514	29	21	15	62.44円
前年同期比	△41	△10	△2	△2	
前回公表値	486	18	16	11	45.86円
前回公表比	△12	+1	+3	+2	

海外売上高 () 内は売上高比率 [億円]

2017年度上期	116 (24.4%)
2016年度上期	123 (23.8%)

	期中平均為替レート (1USD=)
2017年度 上期	111円
2016年度 上期	105円

セグメント別売上高・営業利益



[億円]

摘要	2016年度上期		2017年度上期		前年同期比	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
グローバルプロダクト ビジネス	237	9	187	7	△50	△2
サービスインテグレーション ビジネス	148	18	134	15	△14	△3
パブリックソリューション ビジネス	85	10	88	2	+3	△8
フロントソリューション ビジネス	43	△1	63	3	+20	+4
その他ビジネス/ 全社費用（戦略投資含む）	1	△7	0	△7	±0	±0
計	514	29	474	19	△41	△10

地域別売上高



[億円]

摘要	2016年度上期	2017年度上期	前年同期比
国内	391	358	△34
海外 () 内は売上高比率	123 (23.8%)	116 (24.4%)	△7
米州	79	54	△25
欧州	25	35	+10
アジア	19	27	+8
中国	9	16	+7
その他	0	0	±0
計	514	474	△41

連結財政状態、キャッシュ・フロー

■ 連結財政状態

[億円]

摘要	総資産	負債	純資産	自己資本比率
2017年度上期	701	248	454	64.2%
2016年度末	746	306	440	58.6%
前年度末比	△45	△58	+13	

■ 連結キャッシュ・フロー

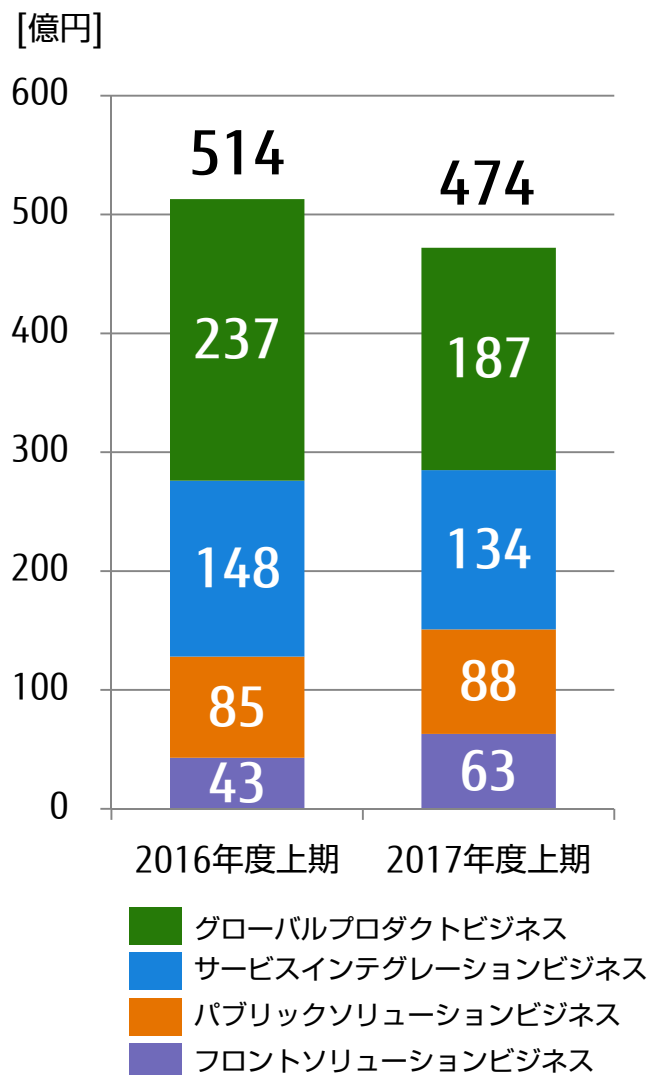
[億円]

摘要	営業C/F A	投資C/F B	刈-C/F A+B	財務C/F C	C/F A+B+C	現金及び 現金同等物の 期末残高
2017年度 上期	44	△25	19	△8	11	199
2016年度 上期	39	△16	23	△8	15	122
前年同期比	+6	△9	△3	±0	△4	+77

2. 上期事業概況および下期取組み

- 売上高全社概況
- グローバルプロダクトビジネス
- サービスインテグレーションビジネス
- パブリックソリューションビジネス
- フロントソリューションビジネス

売上高全社概況



グローバルプロダクトビジネス

ATM、営業店端末、メカコンポーネント、海外向け装置・ソリューション

サービスインテグレーションビジネス

ATM / 金融 / 産業ソリューション
垂直統合型ソリューション（新組織）
LCMサービス、金融サービス、流通サービス

パブリックソリューションビジネス

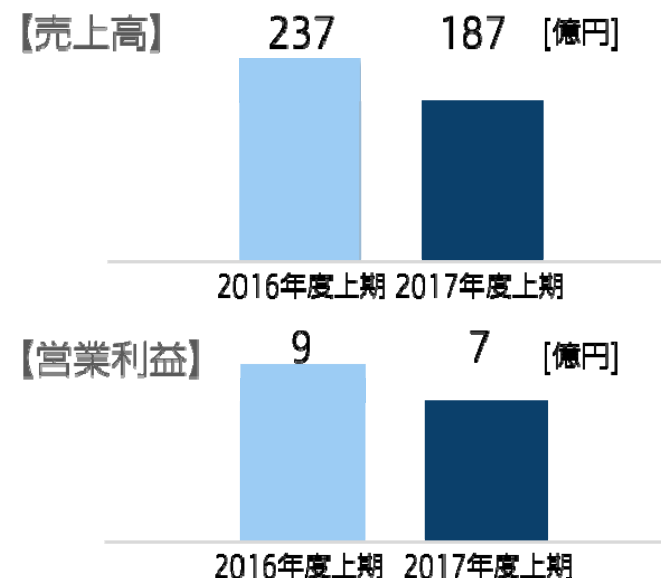
公営競技関連機器、表示システム、オークションシステム、金型・切削加工

フロントソリューションビジネス

手のひら静脈認証、RFID、モバイルシステム、決済ソリューション、店舗システム

上期のビジネス状況

- **メカコンポーネントビジネス**
 - ・北米流通店舗バックオフィス入出金機：
大口展開一巡による減。複数顧客で試行開始
 - ・グローバルATM：中南米需要前倒しによる増加。
継続的な低価格化要求
 - ・中国市場：地下鉄券売機、農村部小型ATM向けの
需要増。低価格化要求の激化
- **国内金融ビジネス**
 - ・自動機／営業店端末：大口展開一巡による減少

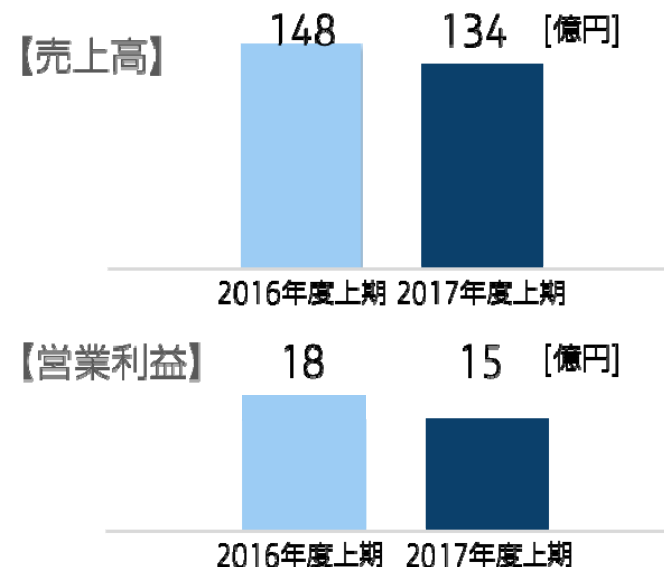


下期の取組み

- **メカコンポーネントビジネス**
 - ・大型から小型まで、リサイクル機ラインナップ強化と徹底したコストダウン継続
 - ・北米流通店舗入出金機ビジネス商談の早期本格展開推進
 - ・中国市場は、農村部向けATMおよび地下鉄券売機向けの展開を拡大
- **国内金融ビジネス**
 - ・営業店業務改革に向けたクイックカウンター、リサイクルキャッシャーの拡販

上期のビジネス状況

- **インテグレーションビジネス**
 - ・ 営業店ソフトウェアパッケージの大口展開一巡
 - ・ 国内ATMソフトウェアパッケージの所要減
- **サービスビジネス**
 - ・ 昨年度にあった大口受託開発案件の開発完了に伴い売上は減少
 - ・ ATMアウトソーシングビジネスは堅調に推移
 - ・ 店舗向けATMの海外ICカード取扱いを本格展開
 - ・ 現金管理運用サービス (TC/CM) の商談拡大
- **垂直統合型ソリューションビジネス**
 - ・ RFIDプラットフォームのPoC獲得



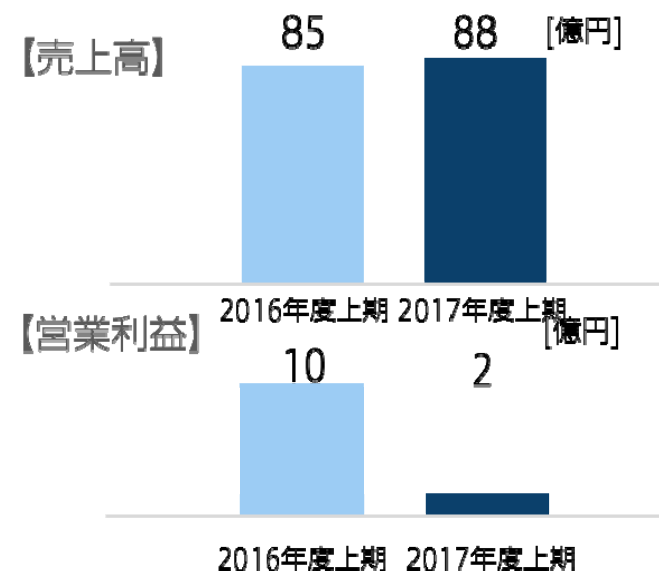
下期の取組み

- 営業店業務改革ソリューションの拡販推進
- 店舗向けATMの新たなキャッシュポイントの拡販推進
- 現金管理運用サービス (TC/CM) の拡販促進とインフラ基盤の拡充
- 公共ソリューションの領域拡大 (toto端末等)
- RFIDプラットフォームのPoC拡大。北米市場でのRFIDソリューション展開拡大

パブリックソリューションビジネス

上期のビジネス状況

- **公営競技ビジネス**
 - ・ 運用サービスの伸長
 - ・ トータリゼータ新端末展開前の端境期による減少
 - ・ toto端末など新製品への先行投資
- **表示ビジネス**
 - ・ フライトインフォメーションディスプレイシステムの展開による増加
- **オークションシステムビジネス**
 - ・ 大手中古車せり会場への継続展開



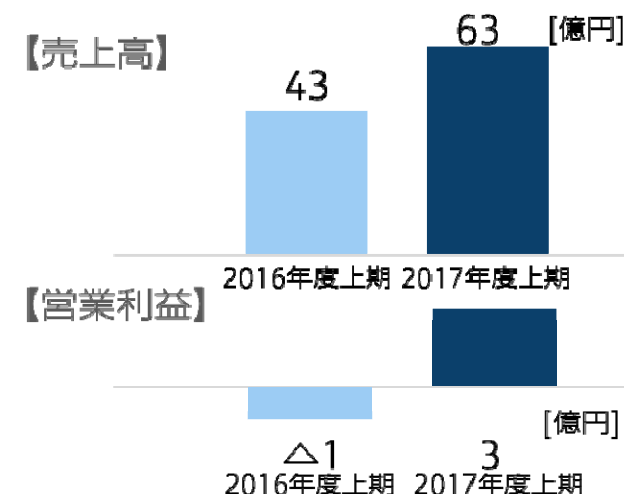
下期の取組み

- **公営競技ビジネス**
 - ・ トータリゼータ8次端末、toto端末の展開開始
 - ・ 競技場向けキャッシュレスクラウド、在席投票端末など新ソリューションの拡販
- **表示ビジネス**
 - ・ 大型映像市場向け表示ソリューションの企画検討
- **オークションシステムビジネス**
 - ・ 汎用端末を採用した新せりシステムの開発と拡販

フロントソリューションビジネス

上期のビジネス状況

- **モバイルシステムビジネス**
 - ・ 物流会社向け大口展開が継続
(2016年度下期～2017年度上期)
- **手のひら静脈認証ビジネス**
 - ・ 北米、ブラジル、韓国など海外向けを中心に伸長
- **RFIDビジネス**
 - ・ アパレルタグ、検体容器用タグを中心に国内向けが伸長、海外向けは安定して推移



下期の取組み

- **モバイル／決済ソリューションビジネス**
 - ・ ICクレジット、デビット、各種電子マネー対応マルチ決済ソリューションの開発、サービス提供開始
- **手のひら静脈認証ビジネス**
 - ・ PCログイン市場向け製品ラインナップ拡充、および複合機・入退室装置など組み込み市場向け周辺製品の強化
- **RFIDビジネス**
 - ・ 国内向けRFID R/W機器および海外向けリネンタグの拡販

3. 2017年度 通期計画概要

- 連結業績予想
- セグメント別売上高・営業利益予想
- 地域別売上高予想

連結業績予想



[億円]

摘要	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 純利益
2017年度計画	1,100	56	48	34	141.76円
2016年度	1,112	57	51	37	153.37円
前年度比	△12	△1	△3	△3	

※第3四半期以降想定レート
1USD=110円

下期は為替による好転要素がありますが、海外ビジネスでの価格競争の激化などを考慮し、通期連結業績予想については、前回公表値から変更いたしません。

セグメント別売上高・営業利益予想



[億円]

摘要	2016年度		2017年度		前年度比	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
グローバルプロダクト ビジネス	505	29	466	14	△39	△15
サービスインテグレーション ビジネス	298	23	296	32	△2	+9
パブリックソリューション ビジネス	192	18	213	16	+21	△2
フロントソリューション ビジネス	116	3	124	6	+8	+3
その他ビジネス/ 全社費用（戦略投資含む）	1	△16	1	△12	±0	+4
計	1,112	57	1,100	56	△12	△1

地域別売上高予想



[億円]

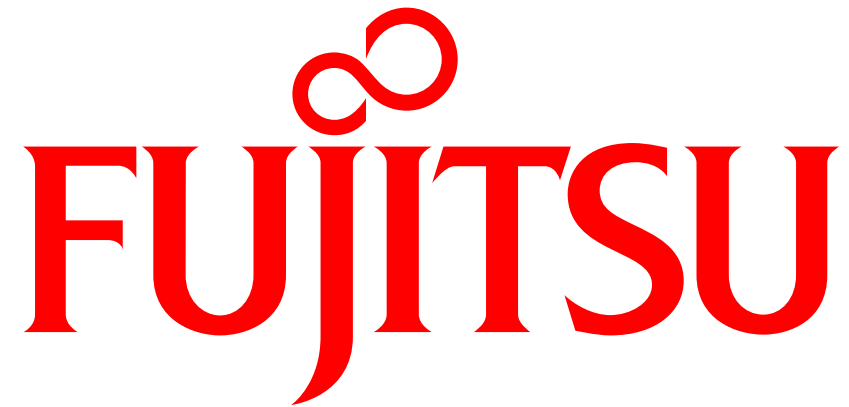
摘要	2016年度	2017年度	前年度比
国内	832	806	△26
海外 () 内は売上高比率	280 (25.2%)	294 (26.7%)	+14
米州	159	118	△41
欧州	76	95	+19
アジア	44	81	+37
中国	30	53	+23
その他	1	0	△1
計	1,112	1,100	△12

<見通しに関する注意事項>

- 本資料には、富士通フロンテックが現時点で把握可能な情報から判断した想定などにもとづく将来についての計画や戦略、業績に関する予想および見通しの記述が含まれています。
- また、多様なリスクや不確実性（経済動向、関連業界における激しい競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度などがあります）を含んでおります。そのため、実際の業績は当社の見込みとは異なる可能性がありますので、ご承知置きください。

<商標について>

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。



shaping tomorrow with you